

平成28年度中央区文化推進事業助成対象事業 (平成27年度助成決定事業) の評価結果

【総合評価】

- 1 平成27年度に選定し、平成28年度に実施された文化創造・発信事業2件及び文化団体活動3件について、おおむね事業計画に沿って実施されており、当初予定した事業目的を達成している。
- 2 文化創造・発信事業の事業者は、中央区文化推進事業助成審査会における中間報告会(平成28年7月開催)や最終評価報告会(平成29年3月開催)に出席し、自身で実施状況等の説明をすることで、審査会委員からの専門的な助言を事業運営に直接活用できるとともに、次年度以降の事業展開に向けた構想づくりの契機とできた。
- 3 文化創造・発信事業2件はいずれも中央区の文化の創造や発信につながる“中央区らしさ”を有する新しい文化事業であり、また文化団体活動3件も地域に根づく芸術文化等を長年にわたり振興・発信している団体であり、本助成により、本区の文化振興上、一定の成果が認められた。

今後、事業のさらなる継続発展に向けて、区内の関係団体や他の文化事業者とも連携を図るとともに、後継者づくりなどの人材育成にも取り組んでいくことが必要である。

4 各事業の成果

(1) 文化創造・発信事業助成 2件

訪日観光客に川辺から中央区の歴史・文化を！！『CHUOU—KU RIVER guide MAP』(英語版)の制作と配布

川辺からみた中央区の歴史や文化を紹介する内容を掲載した折り畳み式のガイドマップ(英語版・日本語版)を作成し、外国人観光客等に配布するとともに、このガイドマップを活用した外国人向けの舟運クルージングを実施することにより、中央区の文化的な魅力を広く知ってもらう機会を提供することができた。

家族でたのしむ こどもびじゅつかん

夏の特別展会期中の休館日を、中学生以下の子どもとその保護者を対象とする“こども専用美術館”として無料開館し、特別展を鑑賞できることに加え、気軽に参加できる美術・工芸の体験プログラム(無料)を実施することにより、芸術文化への関心を深められる機会を提供できた。

(2) 文化団体活動助成 3件

中央区交響楽団第22回定期演奏会・2016冬のコンサート

地域に根ざしたアマチュア・オーケストラとして、日々、練習を積み重ねた成果を発表する場である定期演奏会等を開催したほか、中央区第九の会の公演にも出演した。特に、未就学児の入場を可能とするなど次世代を含めた幅広い年齢層の区民等が気軽にクラシック音楽を楽しむ機会を提供することができた。

新富座こども歌舞伎 節分祭・例大祭公演事業

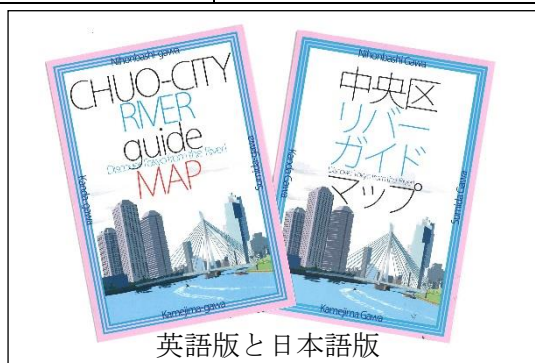
歌舞伎にゆかりの深い中央区の子どもたちが、地元の大人たちの指導や企業の協力を得ながら歌舞伎の稽古を重ね、地域の節分祭等に合わせて公演をすることにより、古典芸能への関心を深めるとともに、歌舞伎をふるさとの伝統文化として根付かせていく機会を提供することができた。

**わがまちの三世代を越えて心をつなぐ音楽活動
－中央区第九記念合唱団の活動を通して－**

「暮れの第九発祥の地」である中央区で、区内小中学校・高等学校の参加を得て、三世代にわたる区民等が相互に交流を図りながら合唱の練習をし、中央区交響楽団と一緒に演奏会を開催したことにより、音楽の楽しさを体感するとともに、中央区にふさわしい芸術文化を広げ高めていく機会を提供することができた。

<文化創造・発信事業助成>

<p>事業名 (団体名)</p>	<p>訪日観光客に川辺から中央区の歴史・文化を！！『CHUOU—KU RIVER guide MAP』(英語版)の制作と配布 (NPO法人 水都東京を創る会)</p>
<p>目的</p>	<p>訪日外国人に向けて、リバーガイドマップを作成配布し、水辺から中央区の歴史・文化を知って楽しんでもらう。</p>
<p>内容</p>	<p>増加傾向にある訪日外国人観光客向けに、英語の河川案内地図『CHUOU—KU RIVER guide MAP』を作成する。このマップには「橋にまつわるお話」「川を巡る見どころ」など中央区の歴史や文化を紹介する内容を掲載した。 マップ作成後は、外国人を対象に中央区の水辺文化や歴史・文化を魅力的に紹介する舟運クルージングを実施した。 また、日本人向けに中央区の水辺文化を紹介するため、英語版にあわせて日本語版も作成・配布した。</p> <p>実施日及び会場等 〈主な事業〉</p> <p>1 『CHUOU—KU RIVER guide MAP』の制作と配布 制作 平成28年4～9月 英語版2,000部 日本語版5,000部 配布 平成28年9～12月 観光協会、日本橋案内所等に配置、隅田川流域観光連絡会等講演会・講習会等4会場で配布</p> <p>2 舟運クルージング 28年11月19日(土) ・実施場所 日本橋船着場から隅田川、東京港周遊 ・参加者 外国人13名、日本人4名</p> <p>事業経費 ￥1,612,720 (補助金: ￥1,413,000)</p>
<p>審査会の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年のオリンピック・パラリンピックで外国人観光客が増えることが想定される折から、時宜を得た企画である。 ・まち歩きを中心としたガイドマップは散見するが、コンパクトながら水辺を中心に中央区の歴史や文化を詳しく解説しているものは他にあまり例がなく、外国人・日本人を問わず、観光などに有効に活用できるツールとして評価できる。 ・日本語版を作成したことで、日本人にとってもガイド研修に寄与することが考えられる。 ・外国人を対象にした舟運クルージングは、訪日外国人が増加傾向にある中で、区を訪れる外国人観光客に水辺から中央区を知ってもらうことにより、区の文化的な魅力を広く周知する事業として期待できる。 ・今後、マップの内容更新やマップのさらなる有効活用を図るための事業展開を期待する。



<p>事業名 (団体名)</p>	<p>家族でたのしむ こどもびじゅつかん 公益財団法人三井文庫 三井記念美術館</p>
<p>目的</p>	<p>ミュージアム・エドゥケーター（教育普及専門職員）が配置されている美術館の特色を生かした芸術文化の発信</p>
<p>内容</p>	<p>夏の特別展「アール・ヌーヴォーの装飾磁器—ヨーロッパの名窯 美麗革命」 (7/6～8/31 開催) 会期中の休館日を活用し、中学生以下の子どもとその保護者を対象に“こども専用美術館”として無料開館した。</p> <p>実施日及び会場等</p> <p>実施時期 平成 28 年 8 月 22 日 (月) 実施場所 三井記念美術館</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップすてきな文様を作ってみよう！参加者 235 名 ・おはなし鑑賞ツアー2回開催 参加者 延べ32 名 ・こどもカフェラウンジすてきな文様をえがいてみよう4回開催 参加者 延べ81 名 ・館長さんと一緒に身近なものを美術館のように展示してみよう！ 参加者 6 名 ・三井本館たてもの探検ツアー 参加者 18 名 <p>事業経費 ￥1, 198, 839 (補助金：￥828, 000)</p>
<p>審査会の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間美術館が広く門戸を開くことで、夏休み期間中に親子で自由に展覧会を鑑賞し、新しい体験プログラムにも参加できた。成長期にある子どもに芸術文化への関心や理解を深めることができる機会を提供する有意義な事業であった。 ・当日、台風による悪天候で交通機関が乱れたこともあり、スタッフを増員して来館者の誘導に当たったため、混乱をきたすことはなかったが、好天であれば、来館者が増加し混乱が生じる危険も予想された。継続して実施するため様々な方策を考えるべきであろう。 ・今後、来館者が増加した場合の対応策への検討や人材育成などにも努めながら、本事業が継続発展していくことを期待する。



おはなし鑑賞ツアー

<文化団体活動助成>

<p>事業名 (団体名)</p>	<p>中央区交響楽団第22回定期演奏会・2016冬のコンサート (中央区交響楽団)</p>
<p>目的</p>	<p>区民にクラシック音楽に気楽に触れていただく鑑賞の機会を広く提供するとともに、団員の意識高揚と今後の活動意欲を促進し、より質の高い演奏の提供を目指す。</p>
<p>内容</p>	<p>平成6年にアマチュア・オーケストラの無かった中央区を活動拠点に設立された。以来、「楽しみ、親しまれるオーケストラとして地域に根差した演奏活動」を重ねており、日頃の活動成果を発表する定期的な機会として春の定期演奏会や冬のコンサートなどを開催している。</p> <p>また、未就学児の入場も可能としたり、中学生以下を無料とするなど区民等が気軽にクラシック音楽を楽しむ機会を幅広く提供している。</p> <p>実施日及び会場等</p> <p>〈主な事業〉</p> <p>(1) 第22回定期演奏会 第一生命ホール(晴海トリトンスクエア内) 平成28年5月22日(日) 出演者・スタッフ 92名 観客数 472名</p> <p>(2) 2016冬のコンサート ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市幸区) 平成28年11月27日(日) 出演者・スタッフ 99名 観客数 606名</p> <p>事業経費 ¥2,417,521(補助金:¥400,000)</p>
<p>審査会の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした交響楽団として、日頃より質の高い演奏を目指して練習を積んで、その成果を春の定期演奏会や冬のコンサートなど開催している。それらのコンサートで、区民がクラシック音楽を気軽に楽しむ機会を提供することができた。 ・特にクラシックコンサートには珍しく、未就学児の入場を可能としたり、中学生以下を無料としたりするなど、地域に開かれた演奏会となっている点も評価できる。 ・本区人口が増加傾向にある中で、今後の活動をより安定的に継続発展させていくため、さらなる演奏技術の向上と団員の質の確保に努めるとともに、効果的な広報宣伝活動や公演入場料収入の増加策など財源確保策の検討も行われることを期待する。



事業名 (団体名)	新富座こども歌舞伎 節分祭・例大祭公演事業 (「新富座こども歌舞伎」の会)
目的	地方の地歌舞伎と同様に地元神社の神楽殿を活用した無料公演により、地元住民の方をはじめ多くの観客の目に触れ、地域に根ざした文化の継承を実現していく。
内容	<p>歌舞伎にゆかりの深い中央区でこども歌舞伎を上演することを目的として平成19年に設立された。区内在住又は区内小学校の児童を対象に出演者を募集し、稽古を重ね、例年地元の鐵砲洲稲荷神社の神楽殿を活用し、「例大祭」(5月)と「節分祭」(2月)にあわせて公演(無料)している。</p> <p>この公演を通じて、より多くの観客などにこども歌舞伎の魅力が伝わり、地域に根差した伝統文化として、こども歌舞伎が次世代へ継承されていくことを願い活動している。</p> <p>実施日及び会場等</p> <p>〈主な事業〉</p> <p>(1) 例大祭公演 区立明石小学校体育館 平成28年5月5日(木祝) 観客数 約400名</p> <p>(2) 節分祭公演 区立中央小学校体育館 平成29年2月5日(日) 観客数 約400名</p> <p>事業経費 ¥2,415,731 (補助金:¥400,000)</p>
審査会の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸歌舞伎発祥の中央区において、地元子どもたちが地域の協力を得て歌舞伎公演を行うことにより、かつて歌舞伎を上演していた新富座の記憶を地域で共有し、歌舞伎をふるさとの伝統文化として根付かせていく機会を提供することができた。 ・地域の大人たちがお囃子や裏方^{はやし}などで参加・協力し、地元企業も衣装等で協力しており、活力ある地域社会づくりの面からも有意義な事業であった。 ・この良き伝統を続けていくためには、指導するスタッフとノウハウの承継が重要な鍵となることから、指導者の後継者づくりなどの人材育成に取り組まれることを期待する。



<p>事業名 (団体名)</p>	<p>わがまちの三世代を越えて心をつなぐ音楽活動 —中央区第九記念合唱団の活動を通して— (NPO法人 中央区第九記念合唱団)</p>
<p>目的</p>	<p>「暮れの第九」発祥の地である中央区で三世代参加型の合唱団として、三世代が心をつなぎ広げながら取り組むことを通して中央区の音楽的財産となることを目指す。</p>
<p>内容</p>	<p>ベートーヴェン作曲・交響曲第9番の公演等を目的に平成19年に設立。 同年12月に晴海トリトンスクエアで、翌年4月には「暮れの第九発祥の地」である歌舞伎座で公演し、その後10年近く毎年暮れに、区内在住・在勤者等による三世代参加型の合唱団として公演(無料)を続けている。これまで三世代を越えた区民等が相互交流を図りながら、音楽力の強化と人材育成にも努めており、現在、合唱団設立10周年記念公演の実現に向けて準備を進めている。</p> <p>実施日及び会場等</p> <p>〈主な事業〉2016 トリトンスクエア公演 平成28年12月10日(土) 晴海トリトンスクエア 2階グランドロビー 特設会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月島第一小、佃中、晴海総合高各合唱部による合唱 ・合唱団と小中高校生とアカペラで「お江戸日本橋」合唱 ・中央区交響楽団の伴奏による「第九」の合唱 <p>観客数 1,000名</p> <p>事業経費 ￥2,487,958 (補助金: ￥400,000)</p>
<p>審査会の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「第九発祥の地」である中央区で、小中学校・高等学校の児童・生徒の参加を得て、三世代参加型の合唱団として中央区交響楽団と一緒に公演した。地域にゆかりのある「第九」を使って区民等が気軽に合唱の楽しさや素晴らしさを体感できる機会を幅広く提供したことで、地域の芸術文化を広げ高めていく上で効果があった。 ・三世代を越えた区民等が相互交流を図りながら、地元の学校とも一体となって合唱を作り上げていく取組は評価できるものであり、音楽を通じた文化振興と地域コミュニティの形成に寄与している。 ・来年の10周年記念公演に向けて、音楽力の向上とともに若い世代の人材の確保・育成にも取り組まれることを期待する。

